

平成28年度第2回 新居浜市高齢者保健福祉計画推進協議会

1 開催日時 平成29年2月14日（火）10:00～11:30

2 開催場所 新居浜市役所4階 41会議室

3 出席者

委員：秦会長、明石委員、坂上委員、神野彰委員、神野盛雄委員、寺田委員、橋本委員、村上委員、森田委員、矢野委員（10名）

事務局：福祉部長・岡部、介護福祉課長・加藤、主幹・東田、副課長・石川、山本、係長・鴨田

地域包括支援センター 所長・古川

傍聴者0人

4 協議事項 (1)平成27年度の実績について
(2)平成28年度地域密着型サービス事業者公募結果について

5 議事録

会長	みなさん、こんにちは。 これより、平成28年度第2回新居浜市高齢者保健福祉計画推進協議会を開催いたします。委員各位におかれましては、お忙しい中、ご出席いただき厚くお礼申し上げます。 それでは、本日の委員の状況を事務局から報告してください。
事務局	委員の出席状況をご報告いたします。本日の会議は、委員数15名に対し、出席委員10名で、新居浜市高齢者保健福祉計画推進協議会設置要綱第6条の会議の成立要件であります過半数以上の出席を満たしておりますことをご報告申し上げます。
会長	それでは、ただ今から議事に入りますが、委員の皆様の忌憚のない活発なご意見をお願いいたします。 まず、議題（1）の平成27年度の実績について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【介護保険事業の状況について説明】

会長	<p>ありがとうございました。ただ今、事務局から「平成27年度の実績の介護保険事業の状況」について説明がありましたが、ご質問、ご意見はございませんか。</p>
委員	<p>平成26年度から平成27年度にかけて、介護給付費が下がっていますが、どのようなものが下がっていますか。</p>
事務局	<p>訪問介護、訪問リハビリテーション、短期入所介護、夜間対応型訪問介護、介護療養型医療施設サービス費などが下がっています。</p>
委員	<p>介護予防事業を行うことはもちろん大事ですが、塩分を控えることが健康にとってもよく、介護給付費の減につながると思います。飲食店の人に料理の際塩分を控えてもらおうと糖尿病はぐんと減るといことがあります。飲食店へのアピールについて新居浜市はどう考えますか。</p>
事務局	<p>保健センターと協議しながら何ができるか考えていきたいと思います。</p>
会長	<p>他にございませんでしょうか。 それでは続きまして、「高齢者福祉一般施策実施状況」についてご説明をお願いします。</p> <p>【高齢者福祉一般施策実施状況について説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局から、「高齢者福祉一般施策実施状況」についてご説明をいただきましたが、これについて何かご意見はないでしょうか。 ないようでございますので、続きまして、「地域支援事業実施状況」について、ご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【地域支援事業実施状況について説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。「地域支援事業実施状況」について、ご説明をいただきましたが、これについてご意見、ご質問はないでしょうか。 それではお尋ねいたします。新居浜市には何人くらい認知症の方がいて、サポート事業により、どのような効果があるのか教えてください。</p>

事務局	<p>認知症の方の人数はどこも把握できていないのが現状です。診察を受けていない認知症の方もいらっしゃるし、認定を受けていない方もいらっしゃいます。高齢者の方が約37,000人いらっしゃいますが、正確な数字は今ちょっとわかりませんが、およそ5,000人くらいの方が、認知症自立度2以上、そして、認知症自立度3以上の方が、半分の2,500人くらいだったと思います。</p> <p>効果についても、認知症の事業が本格化し始めたところなので、今からきちんと把握していかなければならないと考えています。新居浜市の取り組みにとって指標になるものを見極める段階でして、今後指標とするための各種数値を整理していきます。</p>
会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、「平成28年度地域密着型サービス事業者公募関係」についてご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【平成28年度地域密着型サービス事業者公募関係について説明】</p>
会長	<p>ありがとうございました。「平成28年度地域密着型サービス事業者公募関係」について、ご説明をいただきましたが、これについてご意見、ご質問はないでしょうか。</p>
委員	<p>夜間対応の看護をしてくれるところとか医療依存度の高い高齢者を在宅で見ってくれる事業者の充足度が、計画と今の現状とでどういうふうになっていますか。</p>
事務局	<p>平成28年度地域密着型サービス事業者募集を行いました。定期巡回・随時対応型訪問介護看護ほか3事業種について、6事業者を募集したところ、2事業種について2事業者の応募しかありませんでしたので、計画通りにはいっておりません。理由としては、介護報酬の関係もありますし、介護職員が不足しているということがあります。今後、在宅で看護していくマンパワーをどうやって確保するか大きな課題となっております。来年度、愛媛県社会福祉協議会と新居浜市社会福祉協議会合同でヘルパーの研修を行うと聞いていますので、広く人材を掘り起こして介護職に携わる人を増やしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>新居浜市は比較的ましかもしれませんが、介護人材はおおむね不足して常に求人をしています。事業所も新規事業立ち上げるのは難しく、縮小に向か</p>

委員	<p>う方が多いというのが現状です。</p> <p>災害の時の自助公助共助ではないですが、高齢者自らがボランティアというのにも先ほどありました。みんなで支えあいながら声掛けするという機運の高まりというか、前からやれている草の根的なところを呼び起こすのが大事だと思います。</p>
会長	<p>65歳から75歳くらいまでの元気な高齢者の方が、何かできる、活動できる場所があればいいと思います。</p>
事務局	<p>65歳からおおむね75歳で元気で社会活動をしている方をアクティブシニアとかヤングシニアといいます。</p> <p>60代の方は仕事を続けられる方も多いので、地域活動も難しいところがあります。地域の活動について意見をいただきました。地域にいる時間のあるアクティブシニアは、見守りや民生委員などをしており、それ以上活動するのは難しいということでしたが、やり方を変えていったり、もっと若い人も含めて全体の組み立てを相談したいとお伝えしました。今、制度も変わってきていますし、認知症の相談件数も増えてきています。それに対して、事業所では介護職員の確保ができない、地域でのサロンも定例化していくには運営側も利用側もうまくいかないという過渡期にあります。その過渡期を紡いでいってうまくグラデーションの中で、元気な高齢者の方に介護予防に努めていただきながら、地域の中で足を運んでいただきながら、支える側にも回っていただく。それは、役割としてするのではなくて、ご本人さんの楽しみ、生きがい、やりがいとして感じていただくことが大事です。それを社会的にも評価する、そういう流れの中でお互いが感謝の気持ちで還元されて、行政側はそこにポイントを用意するというような仕組みを、皆さんのご意見を聞きながら作っていくという始まりの段階だと思っていますので、よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>自ら進んでやる。共有する。そこに楽しさがある。それが大事だと思っています。つらいことや悩みがあってはいけない。さこは、サロンやカフェを利用できる人は、していただいて、ボランティアでかかわれる人はかかわっていただく。今日いただいた意見をもとに、住みよい新居浜を作っていければいいなと思っています。</p> <p>最後に事務局から何かありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>特にございません。</p>

会長	<p>それでは、予定しておりました議題は終了いたしました。熱心にご協議いただきましてありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。</p>
----	---